

(参考様式3)

会 議 録

会議の名称	平成29年度第4回地域保健計画推進部会				
開催日時	平成29年12月6日(水)午後7時00分～8時40分				
開催場所	いきいきプラザ2階学習室				
出席者 及び欠席者	<p>●出席者：(委員) 大木幸子部会長、嶋原健二副部会長、 浅谷哲也委員、長島浩二委員、杉本美恵子委員、 武者吉和委員、曾我部多美委員、池本昇委員、 高橋照定委員、橋本政紘委員、 栗原恵子委員、水戸部瑞江委員、藤原幸博委員 森田徳子委員、種市幸實委員、小島恵子委員</p> <p>(市事務局)</p> <p>【健康福祉部】河村次長</p> <p>【健康増進課】花田課長、江川課長補佐、小澤課長補佐 鈴木管理係長、原田主任保健師、荻野主任保健師、 丸山主任保健師、内村主任歯科衛生士、 松田主任管理栄養士</p> <p>【地域福祉推進課】新井課長、大塚計画担当主査</p> <p>【保険年金課】菅野医療費適正化担当主査</p> <p>【子育て支援課】嶋田課長、齋藤母子保健係長、 八丁母子保健担当主査、大熊主任保健師、 橋本主任保健師、横山主任保健師、大塚主任保健師</p> <p>【コンサル】(株)アイアールエス</p> <p>●欠席者：川崎由香里委員、和田恵子委員</p>				
傍聴の可否	傍聴 可能	傍聴不 可の場 合はそ の理由		傍聴者 数	なし
会議次第	1 開会 2 挨拶 3 議題 (1)「第5次地域保健計画・健康ひがしむらやま21」及び「東村山 市母子保健計画」の策定について (2)その他 4 閉会				
問い合わせ先	健康福祉部健康増進課成人保健係 担当者名 小澤 電話番号 042-393-5111(内線3219) ファックス番号 042-394-7399				

会 議 経 過

1 開会

2 挨拶

3 議題

(1)「第5次地域保健計画・健康ひがしむらやま21」及び「東村山市母子保健計画」の策定について

●地域福祉推進課より資料3を基に説明

●地域保健計画(案)について健康増進課より、資料3を基に説明

●部会長
質問、意見あるか

●委員
P14 目標、「地域のつながりを醸成する」とあるが、その下にイとして「地域のつながりを醸成する」と目標と同じ文言が掲げている。より一層強調するためにあるのか。

●部会長
上に書いてある目標と、ア、イ、ウに書いてある文章の位置づけ、同じ言葉を重ねていることについて説明いただきたい。

●事務局
位置づけは、目標に対してどういうことをしていくかという小目標。イの同じ言葉は調整する。

●部会長
健康ひがしむらやまの目標は市民も含めたみんなの目標なのか。

●事務局
領域の目標は市としての目標。

●部会長
目標に向けて市が何をするのかは、取組内容の「市が取り組んでいくこと」に書いてある。領域の目標の下に書いてあるのはその間にある目標になるのか。ややこしいかもしれない。健康21の計画趣旨から考えると、みんなの目標なのではないか。それに向けて、市民が取り組めること、市が取り組めること、地域や、医療関係機関がとりくめること。皆で一緒にやってみようというイメージなのでご検討いただきたい。もし、施策目標であるとしたら、アイウを入れるかどうか。

●事務局
現計画では、領域の目標になっているところが大目標で、その下アイウが施策の目

標として入れていた。

●委員

この資料がそのまま計画書になるのか。

●事務局

文章の表現はこのまま計画書になる。この後、誤字修正や文章表現統一の、レイアウトについては改めて2月の最終（案）に向けて構成させていただく。

●委員

基本課題の主語は、だれなのか。

●部会長

市が何をするのももう少し提示された方がよいという意見である。

●委員

「何々があります。こういうことが必要です。」という流れの文章のつながりがわからない。

●委員

P18 栄養のところの数値目標、「栄養バランスのよい食事を十分とっている人の割合」の「十分とっている」基準はどういう基準か。ここは自己申告なので、「十分とっていると回答した人の割合」ではないか。

●部会長

資料3のP6、に基礎調査の結果として食生活が載っている。ここを指して数値目標になっていると思う。指標の項目データの収集先が、指標の表の下に出典元である。

●事務局

P3について、主眼は、課題の認識を共有したい。(1)だと、健康寿命延伸のためのライフステージに応じた健康づくりの推進が課題になっている。前段で、当市の状況を述べ、結論で、課題が述べられているという認識。(2)も同様で、当市の死亡率から東京都と比較して状況を述べ、次に健康診査では～につながっている。4ページも同様。後段のページで具体的な施策として、市民ができること、市ができることを載せている。表現として他人事であると捉えられるといけませんので、考えますが、基本的な考え方としては、だれが課題を認識、共有していただくページであることを申し上げたい。

●部会長

表現の仕方は再考いただきたい。

P22 たばこ対策だが、「市施設の受動喫煙防止をすすめます」だが、このあたりもう少し、一歩踏み出せないか。市施設以外の公共の場は、市のコントロール下ではないためすぐには無理だと思うが、そういうところへのアプローチを推進していくのはできないものか。

●委員

P14「地域のつながりを醸成する」については評価する。特に市が取り組んでいくことの中に、「他の推進主体と連携し、世代間交流も視野に入れた地域活動が充実するように支援します。」を評価する。

●委員

P18、生活習慣の改善の目標、「適切な量と質を取る人の割合を増やす」、適切な量と質はもう少し具体的なところが入ると良い。数値目標の出典元はベースライン値と書いてあるが、個々の考えの中で栄養バランスを考えているので、年代、男性、女性でも違うと思う。P21 アルコール、P23 歯・口腔のように具体的に行動が示されているとわかりやすい。

●事務局

ご意見のとおり、取り組み内容に詳細な内容を記載したい。

●部会長

栄養のコマがある。計画書は、啓発の機会でもあるので、少しそのことが入ってもよいと思う。

●委員

P28 のCOPDの説明やメタボリックシンドロームなどの注釈を入れて欲しい。

●部会長

注釈は計画全体でつけるという説明があった。

●事務局

パブリックコメント実施にあたって、見ていただくかたにわかるよう、カタカナ用語、専門用語等について可能な限り注釈を入れる。用語解説は、6年前もそうだったが、啓発の意味も込めてかなりのスペースを専用でとっている。栄養のコマについては、用語解説にイラスト付きで入れてもいいと思う。

●部会長

本文にかかりつけ薬局のことが特に出ていないが大丈夫か。

●事務局

歯科医については、P28 に書いてある。同じように載せられるところがあれば合わせて載せるというようにしたい。

●部会長

P33 医療体制の充実 感染症のことで防災のことのみの記載だがこれでいいのか。

●事務局

検討する。

●母子保健計画(案)について子育て支援課より、資料3を基に説明

●部会長

質問、意見あるか。

●委員

※記で用語説明が入っていてわかりやすかった。

●委員

1 ページにいくつも※印がある場合は、どれがどれの説明かわからない。※1 や※2 というように番号を入れてほしい。

●部会長

数値目標のベースライン値だが、通常計画のスタート値のことをいうので、ベースライン値が全国及び都だと、あくまでも参考ではないか。この市のベースライン値は実績値ではないかと思う。指標の後にベースラインデータとして東村山市の数値があつて、参考として全国都のデータがあつて、目標。あるいは、ベースライン値があつて目標値があつて、後ろに全国都のベースラインデータがあるという方がよいのでは。

●委員

出典元がそれぞれの指標の下に出ているとよい。

●事務局

この後、校正でわかりやすい表記にする。

●委員

P38 指標の「妊娠中、仕事を続けることに対して職場から配慮されたと思う就労妊婦の割合」は、これについては職場からどうされたかということであつて、市内の職場とは限らない。市民の妊婦さんがどう思うかというところで市を反映しているところではないというところが、指標としてかかがかと思う。また、マタニティマークをつければよいというのではなく、つけなくても妊婦さんが大切にされる社会が目標かと思う。

●部会長

1 点目は、妊娠中の職場配慮について達成のために市がどのように取り組むのか、2 つめはもう少し上位目標があつてもいいのではということ。

●委員

乳幼児のいる家庭で風呂場のドアを乳幼児が自分で開けることができないよう工夫した家庭の割合とあるが、これは課題 1 の子どもの健やかな成長を見守り育む地域づくりにどのように関係があるのか。

●事務局

項目については、国に報告をするものを載せている。国で対象となる健診時に全国統一でアンケートを取ることになっている。お風呂場のドアを開かない工夫をしていないことが問題ということを知りていくことが市の課題。家庭だけでなく全体がそ

ういう気持ちを持っていただきたいということで、地域づくりに入れた。関連性というところで、どこに入れるかは再考したい。

●部会長

昨年度都内で親が子どもだけを置いて不在にしている間に、1歳半のお子さんがお風呂場で死亡した。ネグレクトの事例として児童虐待として扱われた。そういう意味では、この指標自体は、家庭内での必要な育児をきちんとするというところで虐待に入るのかと思う。ただ、地域全体として子どもの事故を防止するというのは施策としてあってもいいと思うので、違う指標を考えてもよい。

妊婦さんのことは国に報告するために、市がデータとして取ることはいいが、それが市の目標値、施策目標として重要かどうかというのはご検討いただいたほうがよい。

●委員

P38、「積極的に育児をしている父親の割合」だが、個人的考え方だが、ひとり親家庭はどうしたらいいのだろうというのが一つある。この文章を載せることが、一人で頑張っているかたに対してどうなのか。子どもを育てる責任があるのは父も母も同じだと思う。父親がお母さんを助けているという上手く表現できないが、他の表現が無いか。ここに持つてくるのが地域づくりの目標になっていいのかという疑問が少しある。

●部会長

ひとり親家庭のこと課題2切れ目ない妊産婦・乳幼児への保健対策で、こんな人たちへこんな支援をしますよとあるが、今だとダブルケアの家庭とか、ひとり親とかいろんな事情の家庭に対して施策をしていくというのが、施策の展開方向の中に、少し文言として入ってもいいと思った。

他にご意見あるか。

●事務局

12月13日を期限に意見を受付けつける。意見は、FAXまたは、メールで健康増進課宛に提出いただきたい。本日の会議のご意見や、他部会との整合を図り、事務局で修正し、部会長に確認をいただき、パブリックコメントをいただくための最終(案)とさせていただきます。

●部会長

今、事務局より意見があれば健康増進課までFAXやメールで提出をという説明があったので、何かあれば12月13日までに提出してほしい。事務局で修正いただいた内容を確認し、最終(案)とさせていただきますことご承認いただけるか。

●委員 承認

●部会長

では、(2)その他について。

●事務局

次回第5回地域保健計画推進部会は、パブリックコメント後、2月頃開催したい。日

程について部会長と事務局で調整し、お知らせする。

●部会長
委員さんから、何かあるか。

●委員
特になし

4 閉会

●部会長
本日の会議は終了する。

以上